

早春の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。
 共和ゴムの寺阪です。



代表取締役 寺阪 剛
 Takeshi Terasaka

インフラの長寿命化につながる新商品としてボルトナット防錆キャップ「まもるくん」を2月に発売しました。発売と同時にいきなり北海道で2物件が決まり、それ以外にもモニター施工で2物件が既に進んでおります。またお問い合わせも多数いただいております。本当にありがたく感謝しております。

昨年10月にロシア出張中に日経電子版ニュースで、9月の大型台風24号の影響で灯台が吹っ飛んで海底で見つかったという記事を見ました。ボルトの錆が原因とのこと。早速、灯台の基礎部分の図面をネットで入手したところSUSボルトM36ダブルナットが図面に書かれていたので、早速設計チームにSkypeで連絡し、M36ダブルナット用のボルトナット防錆キャップの製作を指示し完成させました。2月20日はちょうど東京で仕事だったので、カタログとサンプルを持って、いきなり海上保安庁へ突撃訪問しました！（笑）アポなしの突撃訪問だったので防食の担当者に会えるまで色々大変でしたが、なんとか担当者の方との面談が叶いました。ちょうどボルトナットの防錆がテーマとなっていたので、担当者の方のかなり食いつきもとても良く、内容の濃い建設的な打ち合わせができました。まずはモニター施工からのスタートとなりそうですが海上保安庁に正式採用してもらえる手応えは十分感じております。当社はボルトナットキャップ業界としては後発メーカーですが、業界No1で断トツの防食性能、防水機能を有しておりますので、ボルトナットの錆などでお困りでしたら、是非とも弊社に気軽にお問合せ下さい！

国土強靱化計画、インフラ長寿命化基本計画も施行されており、今後ますますこの分野は市場の拡大が見込まれております。引き続きアンテナを張り巡らし、インフラ長寿命化につながる新しい製品をどんどん開発していく所存ですし、色々なお取引先様と協業できお互いWin-Winの関係を築きたいと思っておりますので、色々とお声掛け頂ければ幸いです。

今後とも引き続き宜しくお願い致します。



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
 RUBBER
 NEWS
 LETTER

共和ゴムニュースレター 第39号
 2019年3月発行
 ニュースレターのバックナンバーは
 弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家貝町3丁目4番地3
 Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3
 日本橋HYビル(和孝江戸橋ビル)4F
 Tel. 03-5255-5133 / 変更 Fax. 03-6673-3505

栃木事業所

〒323-0057 栃木県小山市南小林439
 TEL:090-3268-1039 FAX:028-333-1169

KYOWA RUBBER NEWS LETTER



2019.3 Vol. 39

NEWS

01 アスファルト補修材のご案内

アスファルト舗装面のひび割れを簡単に補修できます。

アスファルト舗装面(表層)のひび割れをそのままにしておくと、そのひび割れがどんどんと大きくなっていき、表層の下にある基盤や上層路盤にまでひび割れが広がっていき、アスファルト全体の耐久性が著しく落ちてしまい、大きなインフラ補修工が必要となります。したがって舗装面(表層)に入ったひび割れを早期に補修しておくことがインフラの長寿命化につながります。

【特長】

- ・施工性UP
業界では当たり前となっているプライマーを使つての面倒な下地処理が不要なので大幅に施工性がUPしております。
- ・温度変化に強い
低温環境下でもひび割れせず、温度変化に強いです。
- ・短時間での交通開放施行後に粘着防止剤を散布することで即座に交通開放が可能です。



【実績】

枚方市、高砂市、別府市、宮崎市

【近日納入予定】

JFEスチール西日本製鉄所

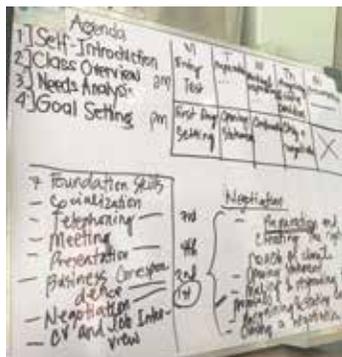


フィリピン 語学留学記

西日本営業 小合 徹
2019.2.19

2月4日～フィリピンのセブ島に語学留学に来ています。ちょうど、期間の半分が過ぎたところですが、勉強内容は日に日にハードになっております。

ここでの留学を体験して一番良く耳にする言葉は、「Do you have any question?」と「Do you agree?」なのですが、とにかく質問がないかと、異論は無いかを聞いてきます。日本人の良くも悪くもある習慣のうやむやにしてごまかすことは許されません。必ず自身の意見を求められ、他人と異なると時は明確な理由を求められます。これはビジネス英語の授業にもしよっちゅう出てくることで、商談と一口に言っても20段階前後の段階を踏みながら交渉を進めるのですが、中に何度も同意を求められたり質問を受け付けられるので、初めのうちは英語云々よりもその習慣に慣れるのが大変でした。



授業は基本的にマンツーマンクラスが多いのですが、1日に2クラスあるグループレッスンでは、先生はむしろオブザーバーの立場で、生徒同士でディスカッションして答えを導くことを重視されます。なので、そこに決まった正解は無く、皆の意見をまとめて、議論を動かすチェアマン的な役割が自然と求められます。50分授業が8コマも

あるって聞いた時は、かなり心配していましたが、実際に受けてみるとあっという間に過ぎていく印象です。

今回僕は4週間の滞在プランでここに来てますが、多くの日本人が様々な滞在期間で語学留学に来ています。中には2週間という短期留学の方もいて、同じ日に入学してバツデメイト(同期)になったのに、先週で卒業して日本に帰った方も居られました。



本当に短い間でしたが、彼らと休日に海に行ったり、普段はフィリピン料理を探して夜の街に出たりと本当に楽しかったので、今はほんの少し寂しいです。あと半月残っているのですが、おそらくあっという間にこの貴重な日々もおわってしまうんだなと感じております。

今は木曜日に控えたPresentation(短い論文発表みたいなもの)に向けて資料作りに追われており、留学生活の中でも一番忙しい時間を過ごしております。

肝心の英語については先生が話していることは90%以上理解できるようになったのですが、自分で話そうとすると語彙力がなくて苦労しております。ただ、ここで学んでいることは英語とか日本語の以前に、いかにうまく話を組み立てて、人に気持ちを伝えるかが大事だということでした。これは、帰国後の営業活動の中でも必ず役にたつと確信しております。

というわけで、あと2週間、悔いの残らないように頑張ります。一旦体調を崩しましたが病院に行くこともなく気力で治しました。食事思っていたより美味しいですが、やはり日本の優しい味付けが恋しいです!